

令和6年度 評価計画及び自己評価

(計画・中間・**最終**)

呉中央中学校区 校番13 呉中央中学校

a 学校教育目標	「自分を育てる」	b 経営理念 ミッション・ビジョン	〈ミッション〉(学校の使命) 小中一貫教育を通して、生涯を自ら豊かに学び続け、 自他を大切に主体的に生きる根っこを育てる。 〈ビジョン〉(将来の学校像) 「楽しい学校・安心できる学校・やりがいのある学校」								
c 中期経営目標を踏 まえた現状(進捗状 況)と今年度の重点	これまで、深い学びを促す授業スタイルの定着を目指して授業改善を進めてきた。今年度は、新学習指導要 領の主旨を踏まえ、より一層「主体的、対話的で深い学び」の実現を目指した授業改善を進めていく。また、長 欠生徒の割合が高い実態を踏まえ、生徒の「心の居場所づくり」及び「積極的な生徒指導」に取り組んでいく。 さらに、業務改善を進め、元気で明るい職場づくりに取り組んでいく。										
育成を目指す資質・能力		「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性」									
評価計画(中期経営目標を設定してから①・2・3年目)							自己評価				
重点	d 中期(3年間) 経営目標	e 短期(今年度) 経営目標	f 目標達成のための方策 (こんなことをして達成します)	g 指標 (効果を見とる目安)	h 目 標 値	上半期			下半期		
						i 達成 値	j 達成 度	k 評価	i 達成 値	j 達成 度	k 評価
***	① 生き生き根っこを 育てる「豊かな学 び」の創造	① 「主体的、対話的 で深い学び」の実 現と基礎・基本の 定着を図る。	① 学園授業スタイルに基づき、 探求的な活動や「思考を促 す発問」を取り入れた思考過 程の工夫による授業改善を 推進する。	授業の中で「思考し 表現している生徒」 の割合	90%	92%	102%	A	91%	101%	A
			総合的な学習の時 間に係る意識調査 において肯定的回 答をしている生徒の 割合	85%	95%	112%	A	98%	115%	A	
			個別支援プログラムに基 づき、補充学習・質問教室等 を進める。 タブレット教材等ICTを有効 的に活用する。	学力調査・定期試験 (国・数・英)におけ る通過率30%以上 の生徒の割合	90%	94%	104%	A	93%	103%	A
			授業と関わりのある課題を 設定し、「呉中央中学校スタ ンダード」を活用して、家庭学 習を進める。	各学年の家庭学習 目標時間の達成率 の割合	65%	76%	117%	A	66%	102%	A
**	① 生き生き根っこを 育てる「豊かな生 き方」の創造	① 「自己指導能力」 を高める。	① 生活目標「あいさつ」「返事」 「時間」「掃除」を明確に示 し、自己評価・他者評価等 を行うことで習慣化を図る。	「あいさつ」「返事」 「時間」「掃除」に関 するアンケートにお いて肯定的回答をし ている生徒の割合	95%	97%	102%	A	97%	102%	A
			① 生徒指導の実践上の4つの 取組を取り入れて、集団づく りを進め、望ましい人間関係 をつくり、生徒の自尊感情を 高める。	自尊感情に関する アンケート「自分 にはよいところがある」 と思っている児徒の 割合	90%	87%	97%	B	89%	99%	B
*	① 生き生き根っこを 育てる「しなやか な体」の育成	① 基本的生活習慣 の定着と体力・運 動能力の向上を 図る。	① 三点固定(早寝・早起き・家 庭学習)やメディアコントロ ールの指導の充実を図る。	三点固定ができ ていると回答してい る生徒の割合	80%	77%	96%	B	73%	91%	B
			① 小中で共通した重点種目 を設定し、9年間を見通した取 組を推進する。	8年生の新体力テ ストの結果、昨年度 より向上した生徒の 割合	80%	81%	101%	A	81%	101%	A
業務 改善	① 業務改善を進め、 元気で明るい職 場を実現する	① 生徒と向き合う時 間を確保する。	① 会議の精選・時間短縮や校 内研修の計画的な実施によ り、勤務時間の有効活用に 努める。	生徒と向き合う時間 が確保されていると 感じる教員の割合	80%	77%	96%	B	94%	118%	A
		① 長時間勤務の縮 減を図る。	① 部活動規定と一斉定時退校 の厳守を習慣化する。	時間外勤務が月45 時間以下の教職員 の割合	70%	59%	84%	B	66%	94%	B

【k: 評価】
A: 100 ≤ (目標達成) B: 80 ≤ (ほぼ達成) < 100
C: 60 ≤ (もう少し) < 80 D: (できていない) < 60